



春の兆しと共に

冬の寒さの中にも、春の訪れを感じさせる日差しが少しずつ増えてまいりました。今年の気候は、季節外れの暖かさが目立った1月から一転し、2月には寒気が流れ込む日も予想されているとのこと。寒暖差が大きいこの時期は、体調を崩しやすく、特に感染症への注意が必要です。引き続き、手洗いやうがい、換気などの基本的な予防対策を徹底しながら、子どもたちが元気に学校生活を送れるよう努めてまいりたいと思います。

本校では、全国学校給食週間に合わせて、1月20日から2月7日まで給食月間がスタートしました。「調理室の見学」や「リクエスト給食」、そして「やまぶき給食アジアツアー」など、楽しくおいしい取組が満載です。子どもたちはそのような給食の取組を通して、食への関心を深めている様子を嬉しく感じています。これらの取組を通じて、子どもたちは食材の選び方や料理の背景にある文化、多様な食習慣について知る機会を得ています。また、給食を通して、食べることの大切さや楽しさを再確認し、感謝の気持ちを持つことも学んでいます。毎日の給食が単なる栄養補給ではなく、心と体を育む学びの場であることを改めて実感しています。

2月からは、読書月間が始まります。本校の子どもたちは、普段から本に親しむ、触れる、読む習慣がしっかり根付いていますが、この機会にさらに多くの本に触れ、知識や感性を豊かにしてほしいと願っています。読書月間のクライマックスには、1年間を通じて読書に取り組んできた成果を振り返り、その努力を称える「読書表彰式」を3月3日に予定しています。この表彰式は、読書を通じた成長をみんなで共有する貴重な機会です。読書は、知識を深めるだけでなく、心を豊かにする力をもっています。是非、この期間に新しいジャンルや物語に挑戦してみてください。「本を読むのが楽しい」と感じられる経験が、子どもたちの世界をより広げてくれることと思います。

春の兆しと共に、これからの子どもたちの成長がますます楽しみです。引き続き、皆さまの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

校長 江口 直美





芸術鑑賞会



1月28日（火）スティールパンバンドの『ワイワイスティールバンド』の皆様をお迎えし、芸術鑑賞会を行いました。

スティールパンは、リズムカルな曲では力強い音色を、しっとりとした曲では優しい音色のする楽器でした。楽器紹介では、演奏の仕方を実演しつつ解説していただいたとき、ジュースやツナの空き缶での『ドレミの歌』の演奏では、身近なものが素敵な楽器になることを学習しました。参加型の演奏会では、手拍子やボディーパーカッションで大盛り上がり。オリジナル曲に始まり、やまぶきフェスと銘打ったリクエスト曲メドレー、校歌とバラエティーに富んだ演目で1時間演奏に引き込まれていた子どもたちでした。



こちらがスティールパンという楽器です。調理道具のボウルのような形をした楽器でした。

アビリンピックに挑戦!!

高等部みらいデザインコース1年生の3名が、2月8日（土）に開催される第22回アビリンピック京都大会（京都府障害者技能競技大会）のビルクリーニングの競技に出場します。

冬休みにも練習をしたり、授業時間中の練習でも一生懸命取り組んだりしてきました。自らアビリンピックの大会に出ようと決意した3人には大きな拍手を送りたいと思います。作業学習の中で学んだ清掃の力、今まで取り組んできた練習の成果を発揮してほしいと思っています。

